

第 83 回 企業・組織の BCP/防災勉強会 議事録

作成：伊藤

1. 日 時：2022 年 1 月 7 日（金）17 時から 18 時 30 分まで
2. 場 所：ZOOM
3. 参加者：<50 音順>（敬称略） 計 12 名
*事務局：丸谷（災害研）、伊藤（災害研）

議 題：「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定について」
担当：東北大学 丸谷

○質疑応答（Q：質問 A：回答 C：コメント）

Q:今後、委員会ではどのような活動を行う予定か？

A:今後は政策対応を考えていく予定である。例えば避難タワーの暖房が低体温症を防ぐものなのか、二次避難が可能な避難路が冬季に使用できるか、などである。併せて、法整備や予算確保などの問題もこれから検討が必要となってくる。

Q:この発表を受けて企業はどのようなことを取り組むべきか。

A:自分の事業所だけでなく取引先の被害も想定してほしい。北海道南部が被災した場合、北部も影響を受ける可能性がある。地域的な広域停電のリスクもある。また、日本全体でも北海道産食料品の品薄・高騰が考えられる。北海道の事業について検討する機会とすべきである。

Q:原子力施設の対策は、本想定を基に見直しがなされるものか。

A:今回の委員会では見直しの話にはならなかった。

C:国交省では、当該災害についても TEC-FORCE を派遣・受援する予定で、日本海溝・千島海溝地震に対応した計画は今後作成の予定である。